

令和３年度 後川内小学校 自己評価書及び学校関係者評価書（２月）

学校経営ビジョン： 「一人一人の子どもが将来の自立に向けて一日一歩前進する学校」を目指す。

評価基準 ４～期待以上（９０％以上） ３～ほぼ期待通り（７０～９０％） ２～やや期待を下回る（５０～７０％） １～改善を要する（５０％以下）

	評価項目	評価指標	具体的な数値目標	方策・手立てについての自己評価	評定		学校関係者評価コメント
					自己	学校関係者	
Ⅰ 学力の向上	１ 学習規律・学習態度の育成と授業の工夫改善	○ 学習規律・学習態度の育成と、授業の改善による「わかった」「できた」を実感できる学習指導に努める。	○ 年間２回（教員全員実施）の研究授業を行う。 ○ 学校評価アンケートの児童調査において、授業が「分かった」「できた」と答える児童を90%以上にする。	○ 主題研究で読解力向上を柱とした年間２回の研究授業を通して、ＩＣＴを活用した授業改善がさらに進んだ。今後も継続して取り組んでいく。 ○ 学校評価のアンケート調査で、授業が「分かった」「できた」と答えた児童は、９６％であった。	３	３	・ 学校経営ビジョンに合った取組が行われている。今後とも継続して取り組んでほしい。 ・ 読書力向上のためには、「やってください。」の声かけだけで結果を上げるのはなかなか難しい。保護者への具体的な啓発が必要である。
	２ 各種学力テストに向けた指導体制の確立	○ 学力テストの過去問題を活用した指導の機会と指導体制を確立する。	○ 各種学力テストで、県・全国平均以上の正答率を目指す。	○ 個別指導の時間帯（ぐんぐんタイム）と実施時期（学力テスト前２週間）に過去問を中心とした指導を行った結果、基礎学力が向上した。	４		
	３ 読書習慣の育成	○ 学校司書や家庭と連携し、読書習慣を育成する。	○ 児童の読書目標達成 80%以上を目指す。	○ 個々に読書目標を設定し、達成に向けた指導を行った。6～8月は、80%以上の児童が目標を達成したが、10月以降は、目標に満たなかった。 ○ 毎月１回の「うち読」は、軌道に乗ってきた。	３		
Ⅱ 心の教育・生徒指導の充実	１ 基本的な行動様式の徹底指導と規範意識の高揚	○ 日々の生活における基本的な行動様式が当たり前できるように指導を徹底する。	○ 学校評価アンケートの児童調査において、「あいさつ」「廊下歩行」「靴並べ」「清掃ができる」と答える児童80%以上を目指す。	○ 「あいさつ」「廊下歩行」「靴並べ」「清掃」の指導を重点的に行った結果、全ての項目で90%以上の児童が目標を達成したと回答した。	４	４	・ コロナ禍の状況で、様々な行事の制限があったが、小中合同運動会や持久走大会については実施できて良かった。小学校と中学校が合同でできることのよさが活かされ、子ども達も成長できていると感じる。
	２ 組織的な児童理解	○ 「育みの会」の充実による児童理解を深め、いじめ・不登校を未然に防ぐ。	○ いじめ・不登校解消率100%を目指す。	○ 「育みの会（月１）」「プチ育みの会（週１）」での情報の共有による児童理解と指導の充実を図ったことで、いじめや不登校を防ぐことができた。	４		
	３ 児童の主体性の向上	○ 児童が主体となる場や機会を増やし、主体性を育む。	○ 学校評価アンケートの児童調査において、「行事や集会活動に進んで取り組んだ。」と答える児童を80%以上にする。	○ 学校行事（小中合同運動会、持久走大会）や集会活動等で、児童が主体となる機会を増やした結果84%の児童から肯定的な回答が得られた。	３		
Ⅲ 健康安全の推進・体力向上	１ 望ましい生活習慣の育成	○ 個に応じた保健指導と感染症予防の習慣化で、自己の健康を守る意識と実践力を高める。	○ ハンカチ携帯、清掃後の手洗い等、感染症予防ができると答える児童70%以上を目指す。 ○ メディアとの付き合い方について、児童・保護者共に意識が高まる。	○ 清掃後の手洗いは、90%の児童が行っていたが、ハンカチの携帯率は、50%弱程度であった。 ○ メディアとの付き合い方については、感染症予防のために計画した講話が実施できなかったが、調査の分析結果を保護者に配付して啓発をすることができた。	３	３	・ 食育に関して、学校給食の食材に牛肉を使っていることがあるが、地産地消のアピールをすることも必要である。 ・ 今後とも子ども達が健全に成長していけるよう見守っていきたい。
	２ 体力向上	○ 体力向上プランに基づいた実践及び個に応じた指導により、体力アップを目指す。	○ 体力テストのDE段階 10%以下を目指す。	○ 体力テストの結果から、体力テストのDE段階が7%であった。また、本校の課題となる体力項目の重点取組計画を策定し、全職員で共通理解できた。	３		
	３ 食育の推進	○ 日々の給食指導の充実や弁当の日を設定し、食に関する指導を推進する。	○ 弁当の日に取り組む児童100%を目指す。	○ 給食指導と弁当の日を継続し、「食」への関心を高めることができた。秋の遠足（1年～5年対象）では、全員が弁当の日に取り組んだ。	４		
Ⅳ 「信頼される学校」づくり	１ コンプライアンス対策の充実	○ コンプライアンスに関する研修と指導を継続し、法令違反等の不祥事ゼロを目指す。	○ 法令違反等の不祥事ゼロを目指す。	○ 事案や啓発資料を活用した指導を継続すると共に、本校の重点事項についての研修を実施したことで、職員による不祥事ゼロを達成した。	４	４	・ 次年度新入児と小学校1、2年生との交流会を設けていただき、入学に対する期待をもつことができた。コロナ感染状況にもよるが、機会があれば、交流や図書室利用などをさせいただけるとありがたい。 ・ 地域の方へのあいさつ面について保護者の意識が低く出ているのは、来客の際のあいさつの状況をみて判断していると思われる。
	２ 地域の力や特色を生かした取組の推進	○ 中学校・保護者・地域との連携を図り、地域の力や特色を生かした取組を推進する。	○ 小中合同の行事、中学校・保育所との活動、地域の行事への協力を行う。	○ 小中合同の運動会（東雲太鼓）・持久走大会、新入学児と小学校1・2年生との交流会を滞りなく実施することができた。新入児と1・2年生との交流では、地域の方々の協力もいただくことができた。	４		